

報告

保険医療医師研修会

常任理事・医療保険部長 橋本 洋一

「保険医療医師研修会」は「より適正な保険診療の実践」および「保険診療上のルールや留意事項等の周知」等を目的に平成14年度から毎年実施しており、前年度から会員と会員が勤務している医療機関の事務職員を対象とし、今年度は表1のとおり開催した。

また、本研修会は例年、当会医療保険部担当役員が道内各地（昨年度は遠軽町・室蘭市・札幌市（石狩医師会対象）・滝川市）に赴いて、講演を行っているが、前年度から勇気会 北央病院院長兼、北海道厚生局保険指導医（前統括指導医療官）古家隆司先生をお招きし、帯広市（帯広市・十勝医師会対象）、函館市（函館市・渡島医師会対象）、苫小牧市（苫小牧市医師会対象）で講演していただいた（表2）。

初めに「保険診療上のルールと指導・監査について」岩内町（岩内古宇郡・寿都医師会対象）では小職が、帯広市、函館市、苫小牧市では古家保険指導医が①患者に対する説明義務の重要性、②診療録記載の重要性、③病名選択による自動算定の注意点、④一般個別指導の概要や指摘事項、⑤保険診療における禁止事項、⑥保険外併用療養費の概要、⑦在宅医療における問題点、⑧個別指導や適時調査の概要、⑨施設基準の注意点等について説明した。

また、北海道方式の「集団的個別指導」について



長瀬会長



古家保険指導医

表1 開催状況

回	日時	場所	出席者
1	平成26年10月9日(木) 午後6時30分～	岩内町・清寿司本店	17名
2	平成26年10月15日(水) 午後6時30分～	帯広市・ホテル日航 ノースランド帯広	76名
3	平成26年10月29日(水) 午後6時30分～	函館市・ホテル函館ロイヤル	94名
4	平成26年11月18日(火) 午後6時30分～	苫小牧市・グランド ホテルニュー王子	64名

も、導入された経緯や、保険医療機関の管理者が正当な理由なく欠席した場合には、返還を伴う「個別指導」に移行する可能性があることなどを説明したうえで、必ず出席するよう注意喚起した。

次いで、「保険診療上の留意事項について」小職より、社保支払基金・国保連合会両審査機関における審査や件数・査定率等の状況、内科領域ならびに全科で問題となる事項や指摘および返戻が多い事項などについて説明。

また、査定対象になりやすい例として①傷病名と画像診断部位の不一致、②疑い病名での治療、③低薬価（175円以下）薬剤使用時の病名の有無、④併用不可の薬剤、⑤薬剤投与日数の制限、⑥禁忌疾患に対する薬剤投与、⑦一律のセット検査、⑧薬剤の使用量、⑨同一患者に対する連月の同一検査など約30項目を挙げ、「医科点数表の解釈」等を十分参照するよう促した。

各地域の出席者からは「入院時検査における病名の有無」、「診療情報提供書の宛名」、「短期間で再発した急性疾患に対する初診料の算定」、「禁忌疾患に対する投薬の症状詳記」、「薬剤の使用上限」、「返戻・査定事由」等に関する質問があり、活発な意見交換を行った。

平成26年度の開催は11月18日をもって終了したが、引き続き平成27年度も行う予定であるので、開催の際には、ぜひ、出席をいただきたい。

なお、「平成26年度の指導について」は本誌第1148号（平成26年5月1日発行）の解説に小職が執筆しているので参照いただきたい。



研修会の様子（苫小牧会場）

表2 保険医療医師研修会 次第

1. 開 会 (司会) 北海道医師会常任理事 医療保険副部長 笹本 洋一
2. 挨拶 北海道医師会、開催地医師会
3. 研 修 (1) 保険診療上のルールと指導・監査について (60分) 北海道厚生局保険指導医 古家 隆司 (帯広市・函館市・苫小牧市) 北海道医師会常任理事 橋本 洋一 (岩内町) (2) 保険診療上の留意事項について (30分) 北海道医師会常任理事 橋本 洋一
4. 意見交換
5. 閉 会